

# 松江小学校応援団実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松江小学校長 堀 越 和 子  
コーディネーター 八武崎 秀 紀

## 2 ボランティア登録数（平成30年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	550人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り(旗振り)	週5日	487
放課後見守り	週1日	26
読書ボランティア	不定期(およそ2週に1日)	12
読み聞かせボランティア	不定期(およそ2週に1日)	18
踊りボランティア	年1回	25
昔遊びボランティア	年1回	25
花壇ボランティア	不定期	11
ベルマークボランティア	不定期	13
漢字検定手伝い	年3回	16
補習教室ボランティア	不定期	3



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・多くの保護者や地域の方々に見守られた集団登校は、今年度も無事故が続いている。
- ・読書ボランティアの蔵書の整理や補修、季節ごとの飾り付けづくりなどの意欲的な活動により、学校図書館の雰囲気さらに明るく、本に親しむすてきな環境になった。1階の「えほんのもり」では、休み時間には必ず低学年の子供たちが本を読んでいる。また、松江図書館に出掛け、団体貸出し用の図書選定をしていただいた。毎月、その時期にふさわしい読み物や学習に関連した図書が届けられ、子供たちの本への興味・関心も高まり、本を活用した調べ学習も活発に行われるようになった。
- ・読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせは、担当して下さる人数も増え、低学年だけでなく高学年も行われるようになった。子供たちにとって楽しい時間の一つとなっている。
- ・地域の熟年者に来ていただき、盆踊りや昔遊びを教えていただいた。夏休み中は各町会の盆踊り会場に3年生が中心に集まり、地域の方々と共に踊り、交流している。



### < 課 題 >

- ・人材把握・人材確保・・・新しいメンバーを発掘し、輪が広がるように
- ・連絡手段の確立・・・情報を共有し、臨機応変に対応できるように

## 5 コーディネーターより

松江小学校サポーターズクラブ(MSC)は、「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、子供たちの安全を中心に、そして子供たちが、学校生活や放課後の生活を安全で楽しく送れるよう支援するために発足しました。今年も大きな事故や事件に巻き込まれず、子供たちが安全に過ごせたことが何よりです。今年度後半からは、長期休業中のパトロールに加えて、週に1度、おやじの会のお父さん方を中心に、放課後の見守りも開始いたしました。また12月には、元オリンピック日本代表 朝日健太郎選手をお迎えし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた子供たちに教育のお手伝いもできました。今後も、地元商店街や地域の方々とも力を合わせ、子供たちが一層安全に、そして、毎日楽しく過ごせるように努めていきたいと思っております。

## 6 学校長より

12月11日、2008年北京五輪、2012年ロンドン五輪で、ビーチバレーの日本代表選手になられた朝日健太郎様が、松江小学校にお越しくださり、バレーの実技をご披露して下さったり、子供たちに「大きな夢と高い目標」を抱くことの素晴らしさをお話しく下さったりしました。子供たちは、目を輝かせてお話に聞き入っていました。学校応援団の皆様のご紹介により実現できましたことに感謝いたします。夢のような時間でした。

今年度も、保護者や地域の皆様を中心にした学校応援団の皆様には、多くのお力添えをいただき、子供たちは、健やかに成長することができました。これからも、学校応援団の皆様と共に、一層、地域と共に歩む学校づくりを推進していきます。